

誰もが読める！ アクセシブルな電子書籍のニーズと最新情報

DAISY教科書提供の現状

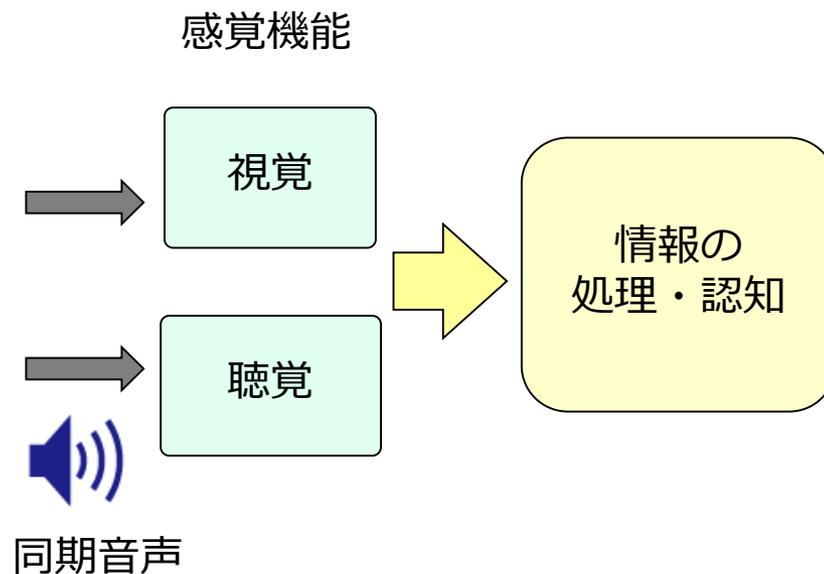
令和元年(2019年) 7月19日

公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会は、平成20年度からボランティア団体等と協力して小中学校の発達障害など読みの困難がある児童生徒にデイジー教科書の製作・提供を行っています。

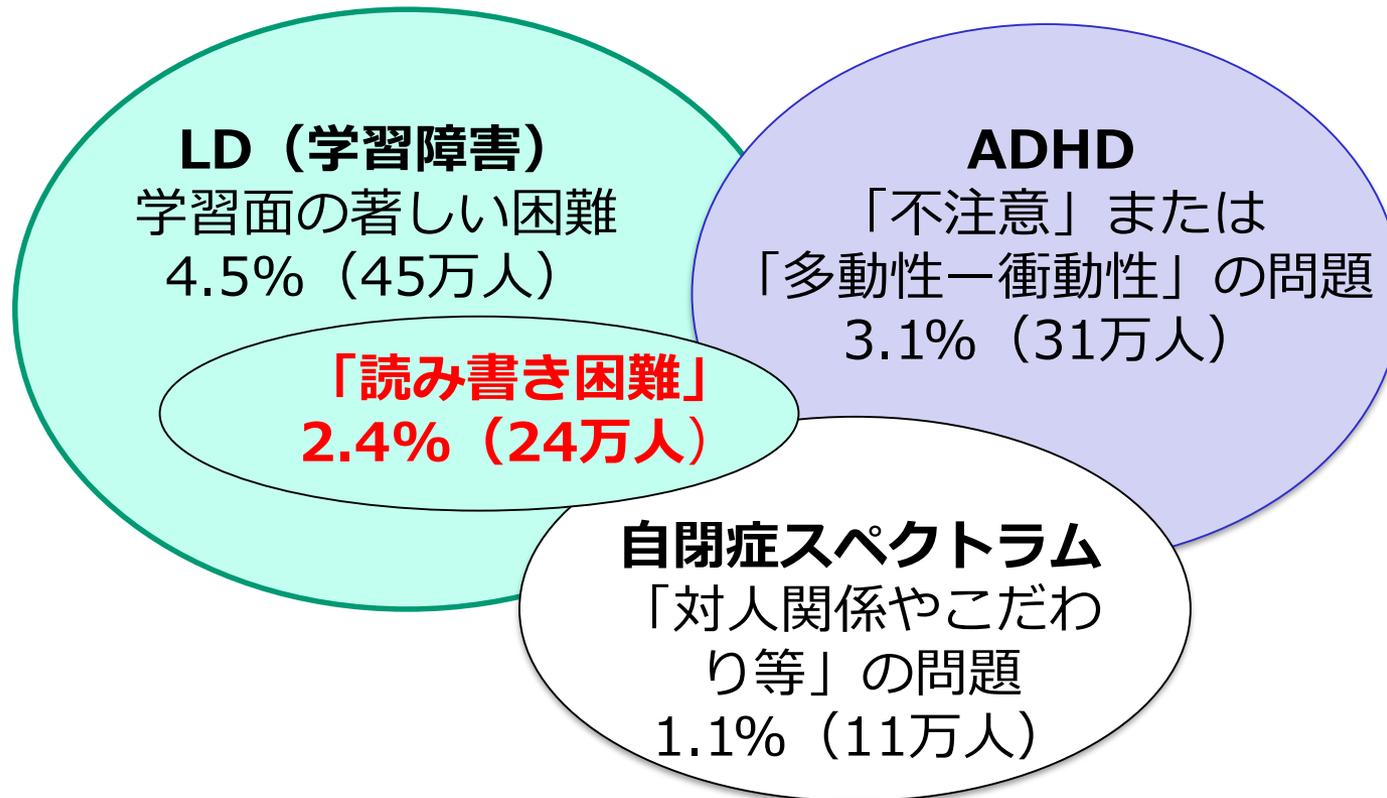


むかしは、**私たちの村のちかくの、中山**
なかやまというところにちい小さなお城しろがあっ
て、中山なかやまさまというおとのさまが、おられ
たそうです。



ハイライトしたテキストに同期して音声を再生できることで、視覚と聴覚の両方の感覚を使って教科書を読むことができるため、読むこと自体の負担が減って、自分の能力を内容理解等に使うことができます。

発達障害の可能性のある児童生徒数
全国小中学校の通常学級在籍の約6.5%=65万人



平成24年度12月「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査について」文部科学省初等中等教育局特別支援教育課

文字がにじむ

思い出して下さい。あなたのクラスにこんな子は、いませんか？
写し取るのに時間がかかる子、ノートのマスから文字がはみ出してしまったり、本読みがつまみつきでしか読めない子。きつといたことと思

文字がゆらぐ

思い出して下さい。あなたのクラスにこんな子は、いませんか？
写し取るのに時間がかかる子、ノートのマスから文字がはみ出してしまったり、本読みがつまみつきでしか読めない子。きつといたことと思

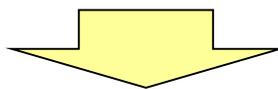
鏡文字になる

思い出して下さい。あなたのクラスにこんな子は、いませんか？
写し取るのに時間がかかる子、ノートのマスから文字がはみ出してしまったり、本読みがつまみつきでしか読めない子。きつといたことと思

文字がかすむ

思い出して下さい。あなたのクラスにこんな子は、いませんか？
写し取るのに時間がかかる子、ノートのマスから文字がはみ出してしまったり、本読みがつまみつきでしか読めない子。きつといたことと思

さらに見え方の問題だけでなく、「記号」である文字を「音」として認識することが困難だったり、名称を想起する速度が遅いことによって起こると言われています。



- 逐次読みになってしまう
- 勝手読みをしてしまう
- 単語の切れ目が判らない
- 漢字や熟語が読めない

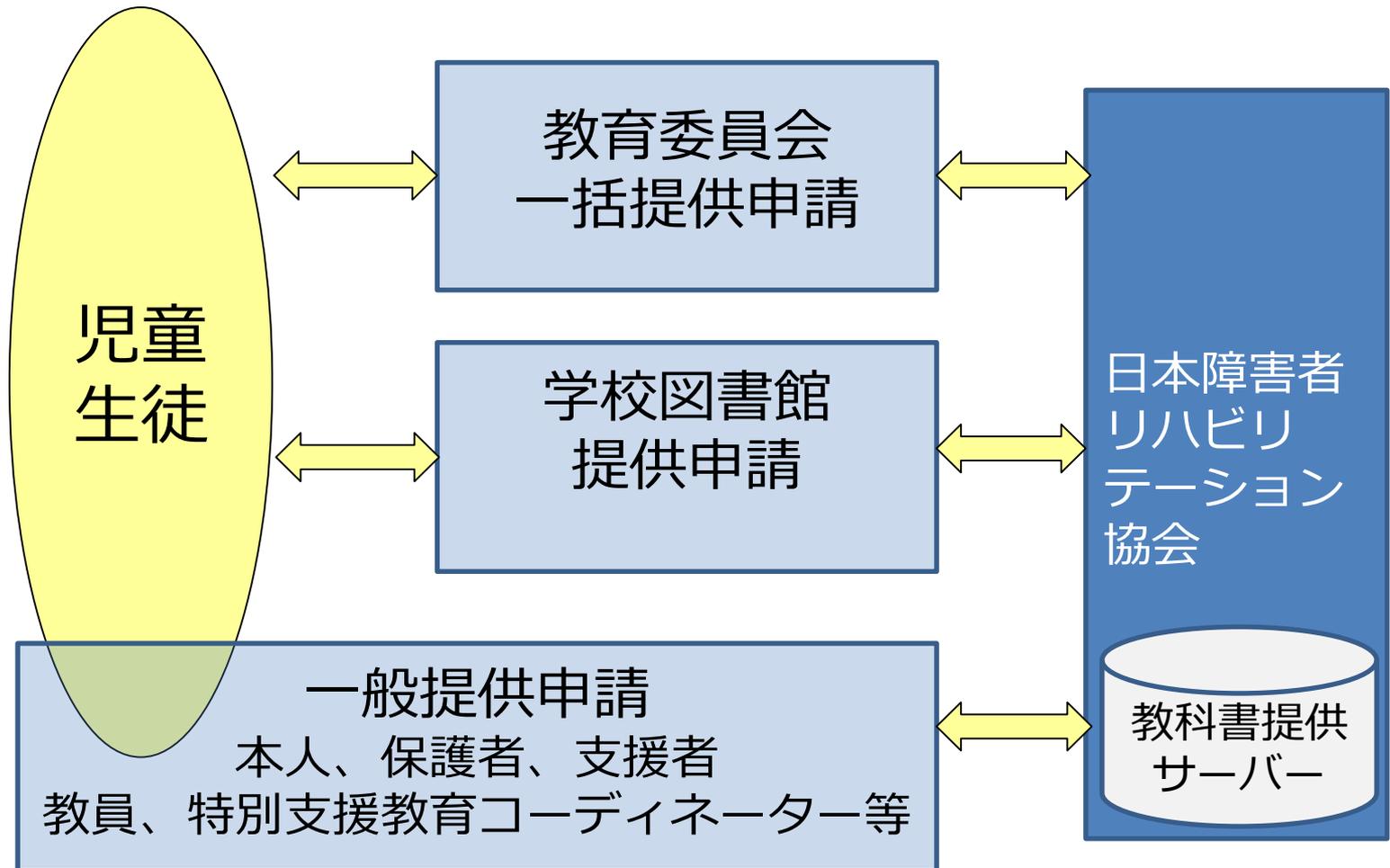
- ハイライトされたテキストと、音声、画像が同時に表示され、どこを読んでいるかが確認できる
- 学習順の再レイアウトによりリフロー対応済、連続して再生すれば学習できる（拡大や縮小しても読み順で迷わない）
- 目次や見出しをつかって、読みたいページに移動ができる
- 教科書と同じルビに加えて、総ルビ版を提供
- 個々のニーズに合った読み方が可能
（文字の大きさや色、背景色、再生速度等）

紙の教科書とデイジー教科書の比較

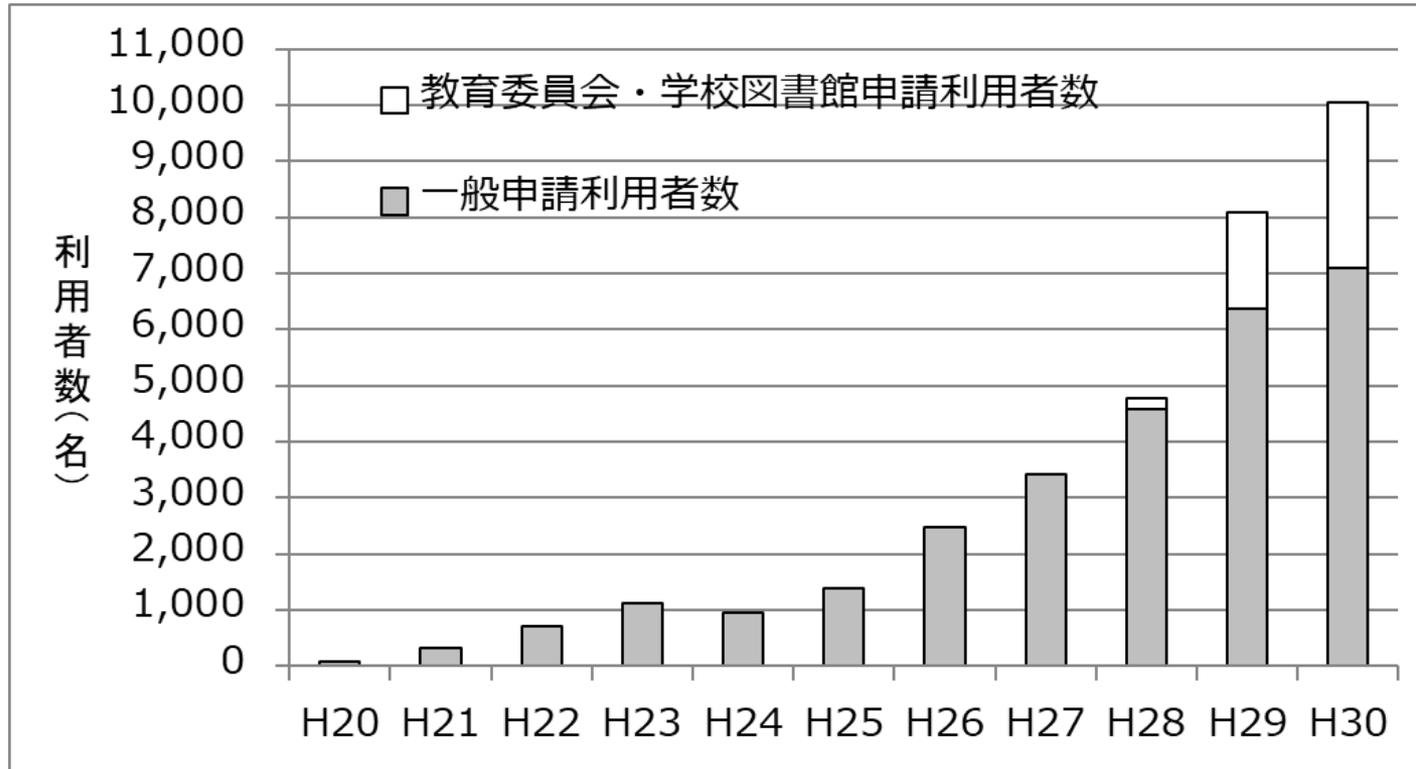
項目	紙の教科書	デイジー教科書
レイアウト	固定	可変（リフロー）
フォント	固定	可変
文字大きさ、向き	固定	可変
背景色、文字色	固定	可変
ルビ	固定（手書きで追加）	総ルビ版あり
読み上げ	－（代読）	録音音声
注視	スリット	ハイライト

デイジー教科書は、自由度、そして代替え手段が多く一人一人の困難さに応じたカスタマイズで読みを支援します。

デイジー教科書の申請、利用の流れ



デジタル教科書の利用申請状況



平成29年度

平成30年度

教育委員会、学校図書館申請：1,715名

2,949名

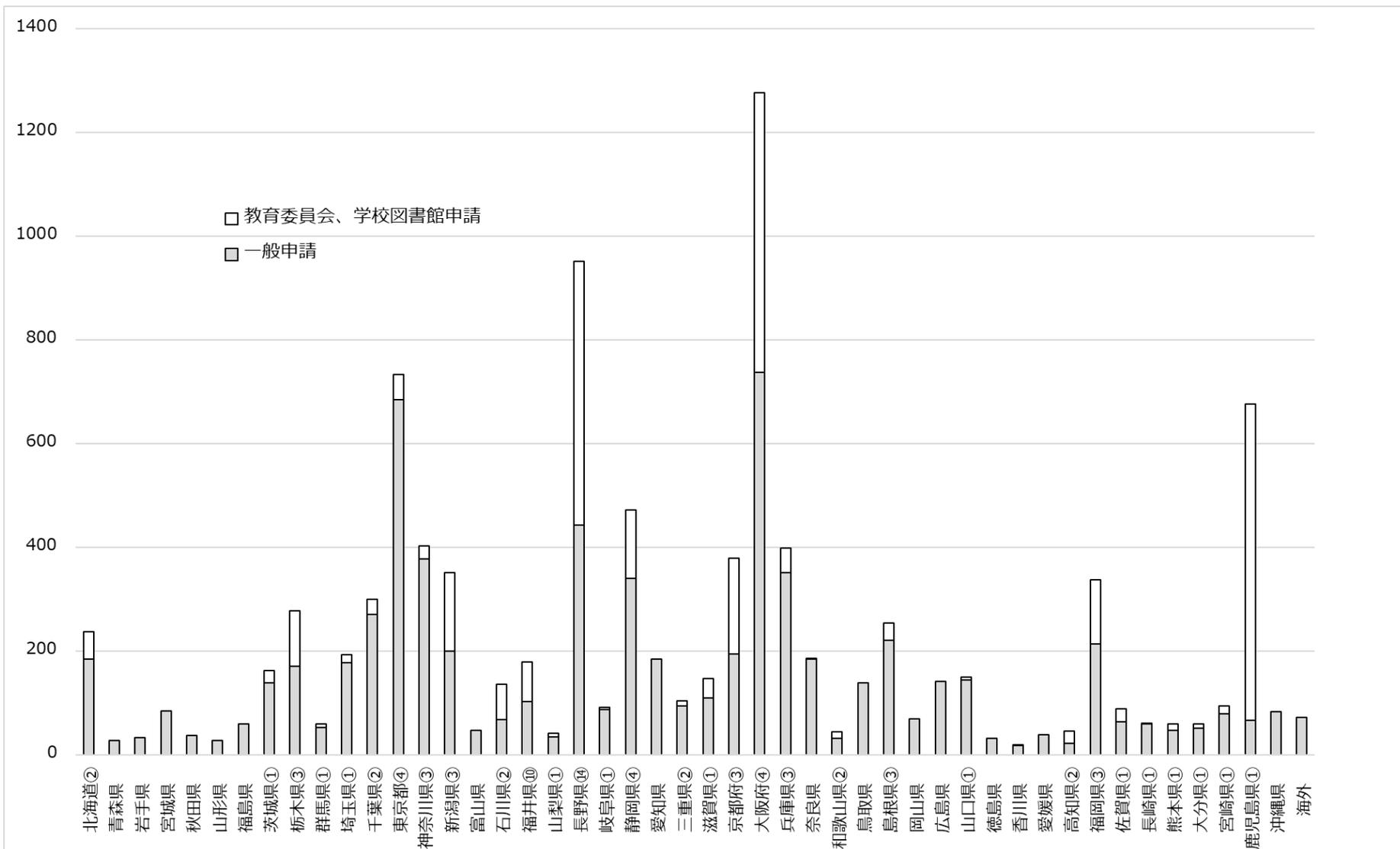
一般申請（保護者、教員）：6,378名

7,090名

合計：8,093名

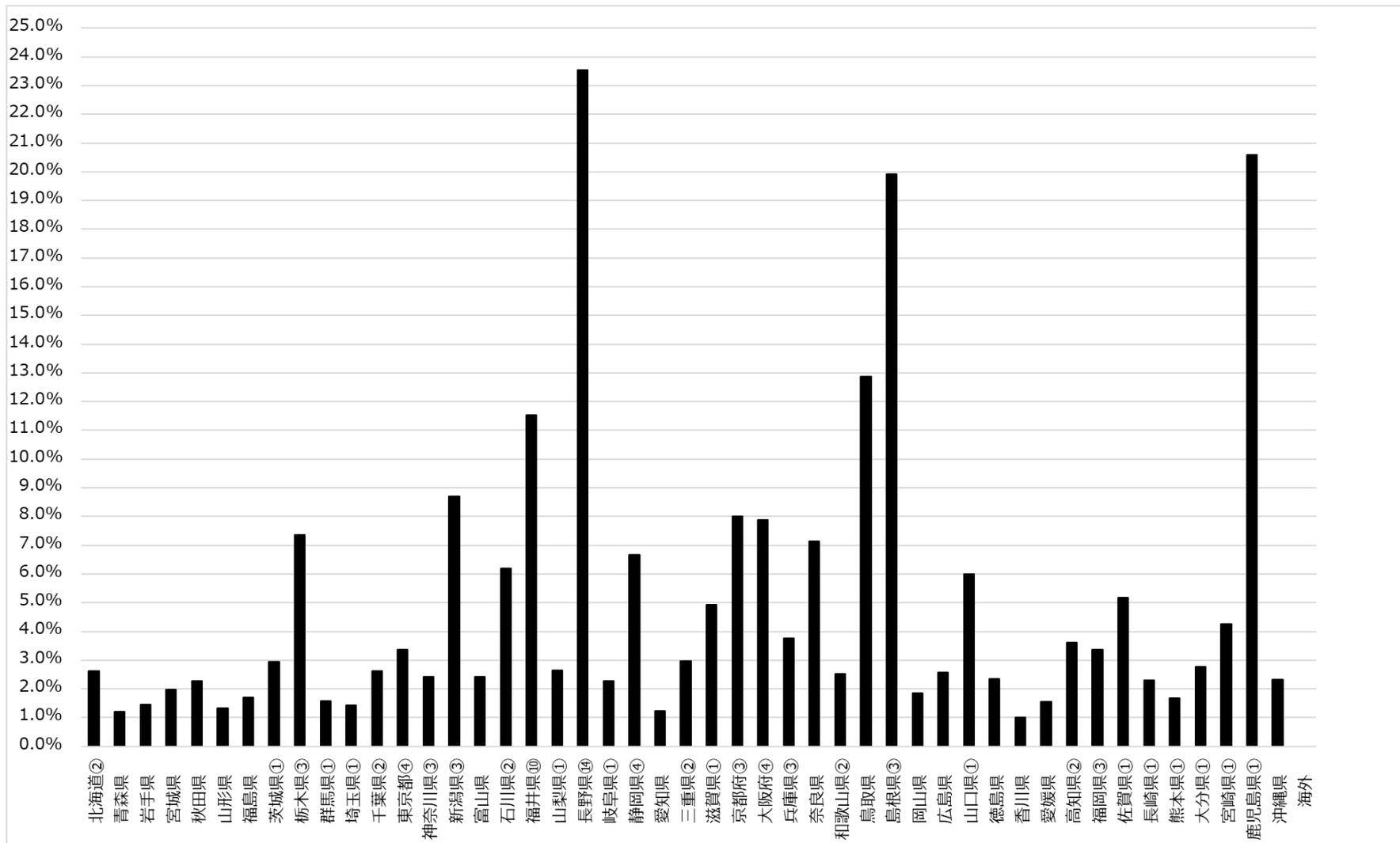
10,039名

平成30都道府県別デイジー教科書利用者数



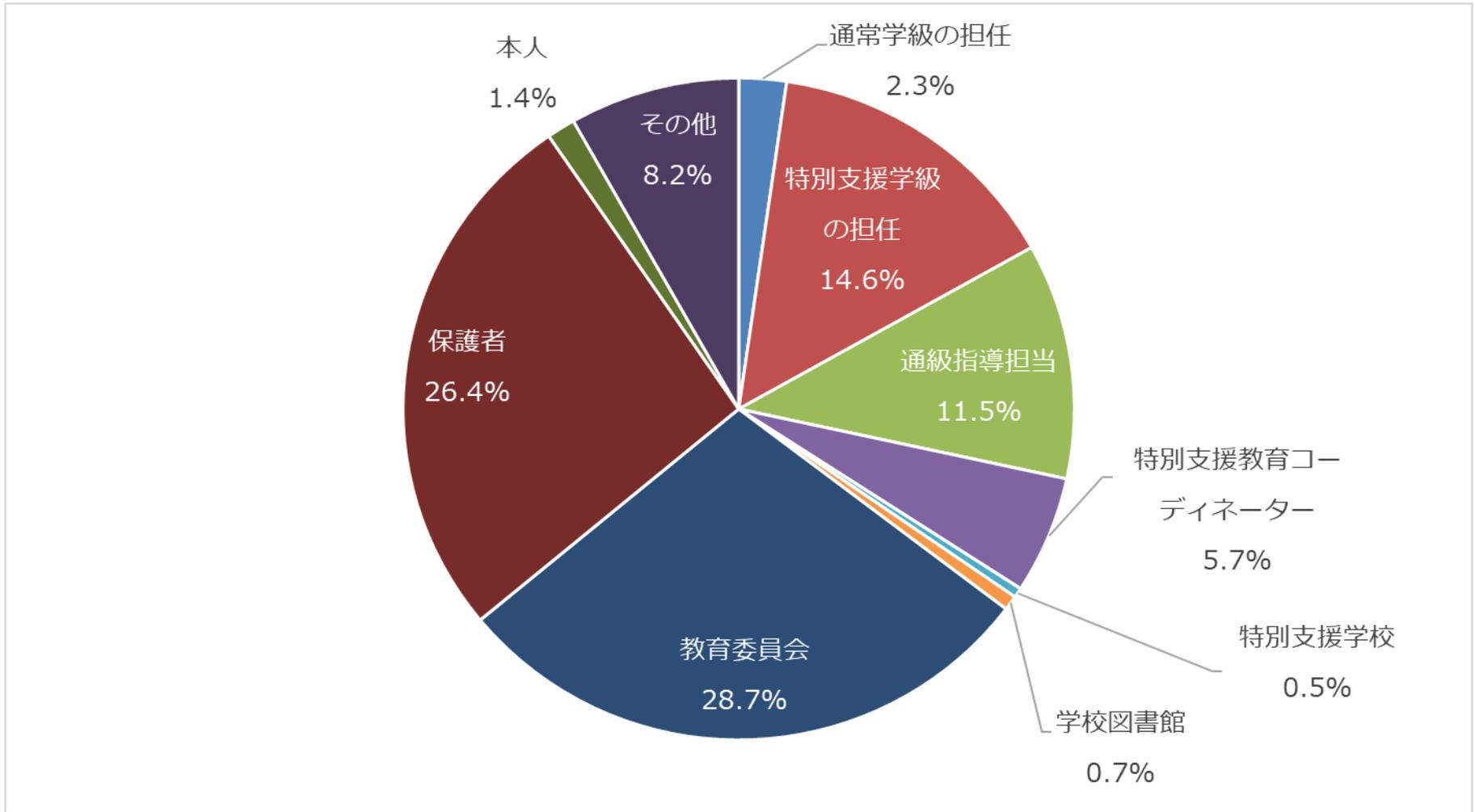
○内の数字は教育委員会申請数：計82

平成30都道府県別デージー教科書普及率

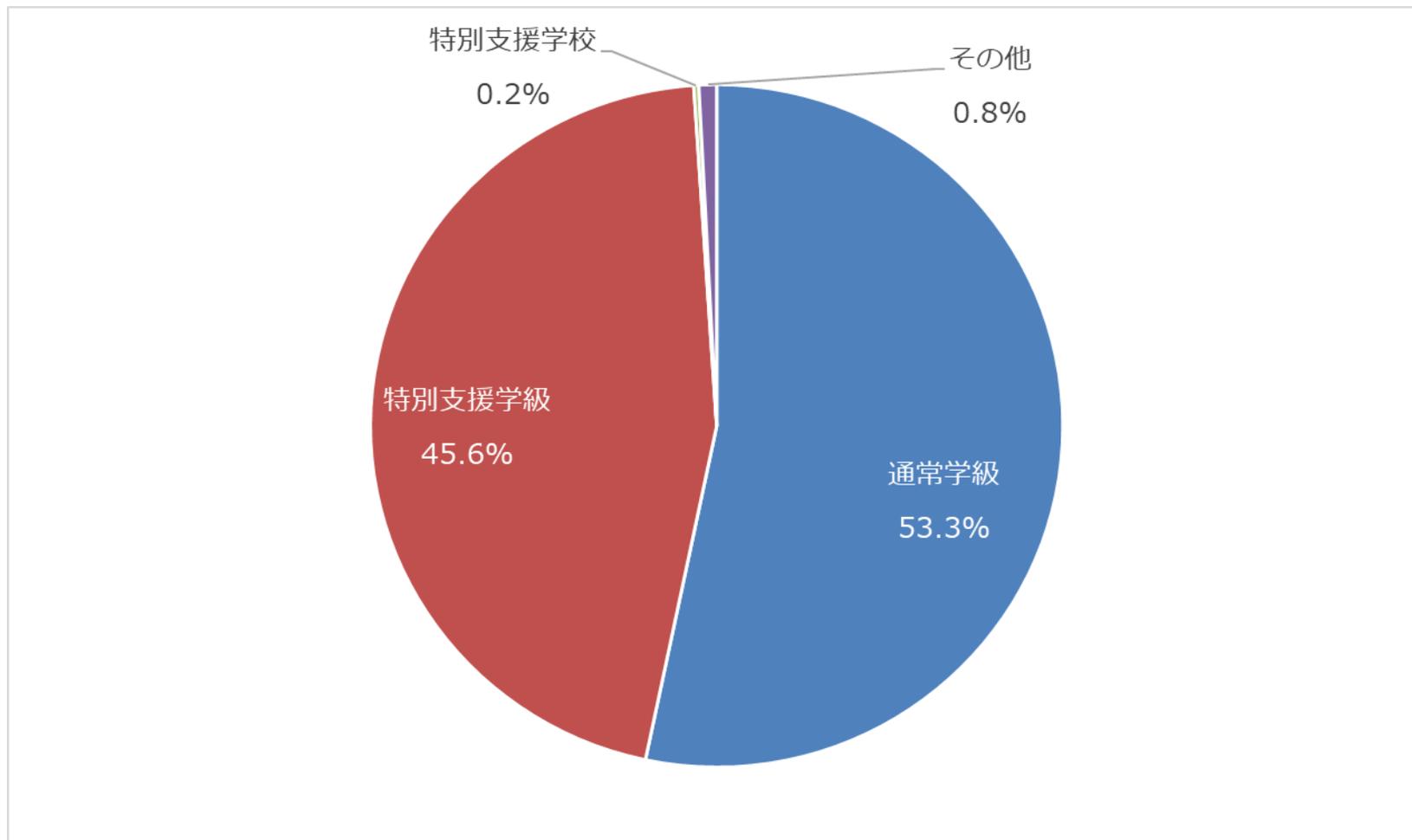


普及率 = デージー教科書利用者数 / 児童生徒数 (H30年度 : 文部科学省統計資料) × 2.4%

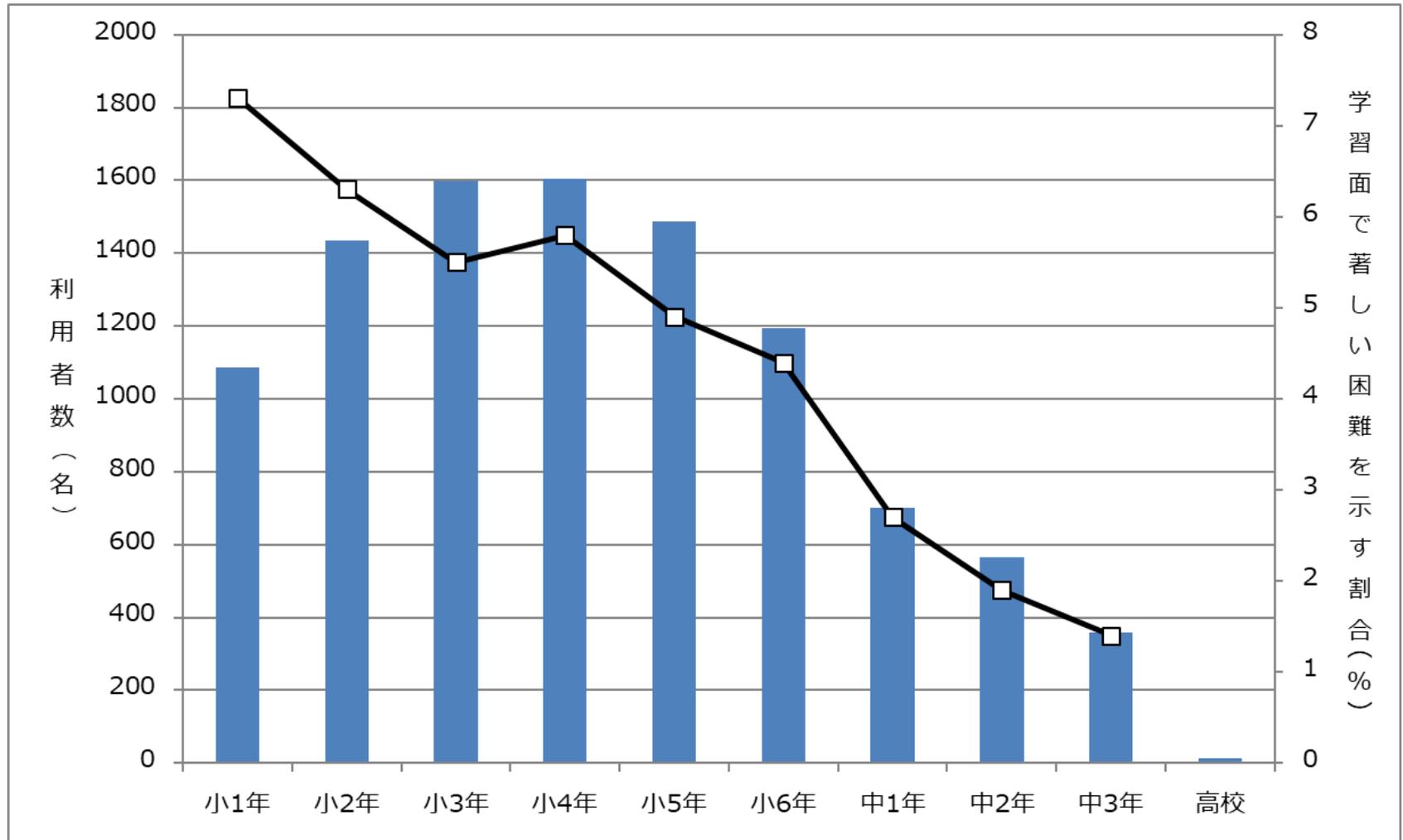
平成30年度申請者内訳



平成30年度利用者所属学級訳

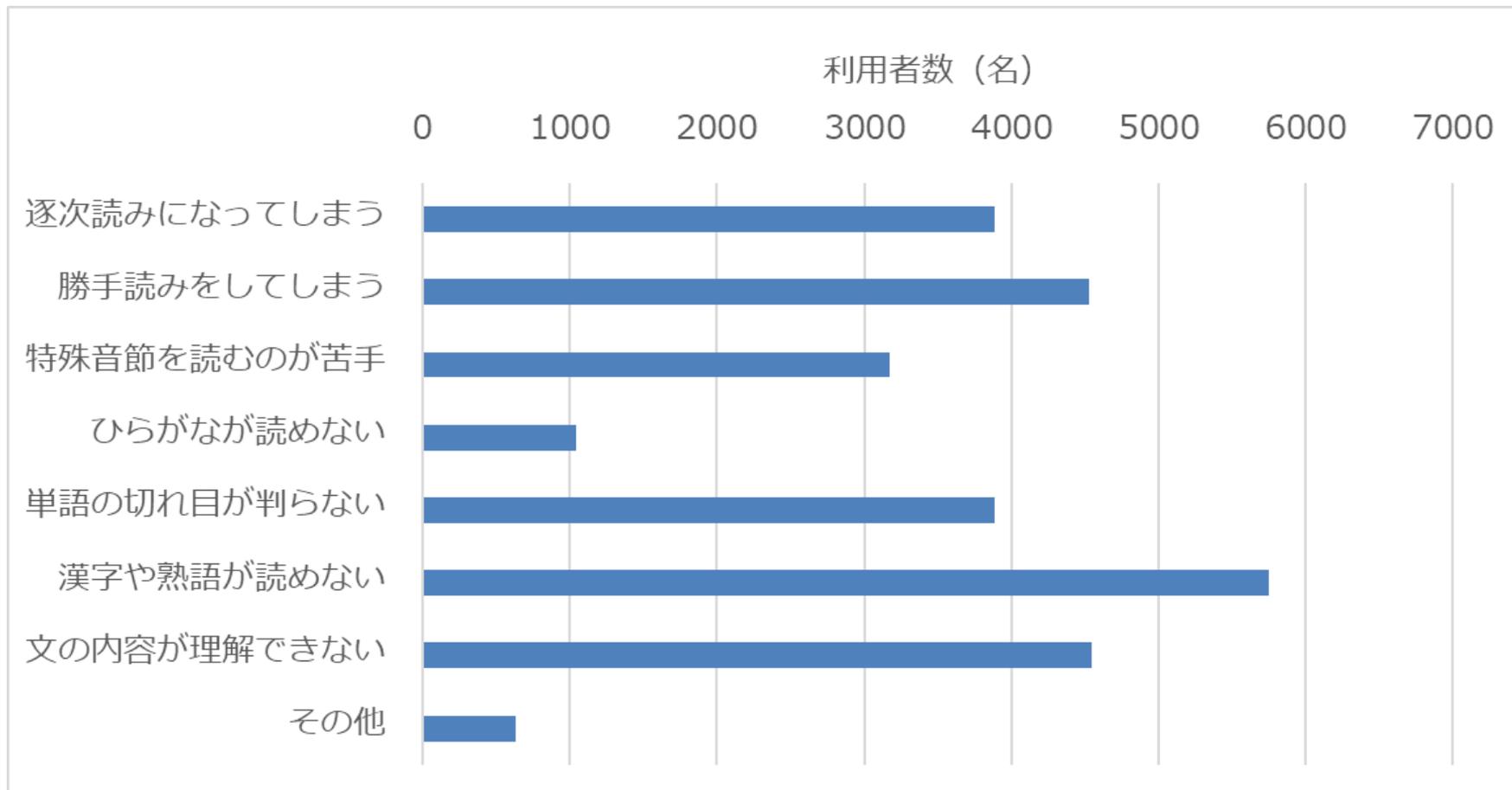


平成30年度利用者学年内訳



平成24年度12月「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査について」より学習面で著しい困難を示す割合を参考に提示

平成30年度読みの困難さの状況（複数回答）



- 効果的な読みの支援としての認知が進み、H30年度利用者が1万名を越えたが、普及率4%で限定的
- 都道府県別の普及率では、20%を越えているところと、1%程度に留まるところとの差が大きい。
→あらゆる機会を利用した周知活動
- 小学校低学年でのアセスメントから、読みの支援につなげていく仕組みとその定着が必要。